



丸亀でのオールスター開催は93年以来、実に32年ぶり。この時は49歳の野中和夫が3コースからまくり差して通算5度目の大会制覇を果たした。今年もベテランから若手までボート界を代表する人気者達が集結。誰がファンの期待に応えて優勝するか注目だ。

5/27(火)▶6/1(日)ボートレース丸亀



昨年の覇者・定松勇樹



**ファン投票1位は毒島誠！
峰竜太は下半期の巻き返しへ**

ついに牙城を崩した。毒島誠が峰竜太に2500票以上の差をつけて22年以來3年ぶりにファン投票1位の座を獲得した。しかも3年前は峰が不在だったので今回は昨年の活躍が多く票につながったと見ていいだろう。

昨年の毒島はクラシックを優勝すると年末には悲願だったグランプリ制覇を成し遂げ黄金のヘルメットをかぶった。それ以外にもオールスターとダービーで優出。令

和6年最優秀選手にも選ばれた。これだけでも十分すごい成績だが、今年に入ってから手を緩めることなく3月には尼崎と平和島で連続Vを決め、連覇のかかるグランプリ出場へばく進中だ。ファンへの感謝を胸に、全力で戦い抜く。

2位に甘んじてしまった峰は今年正月の地元シリーズで右手中指を骨折してしまい、早い段階でレースには復帰したものの精細を欠

IN BOATRACE MARUGAME ALLSTARS

表1 第52回ボートレースオールスター出場選手 選出順位表

順位	登番	氏名	支部	得票数	出場回数
前年V	5121	定松 勇樹	佐賀	7,939	3年連続3回目
グランプリ優出	4238	毒島 誠	群馬	24,005	13年連続14回目
	3941	池田 浩二	愛知	18,364	4年連続22回目
	4262	馬場 貴也	滋賀	17,386	7年連続7回目
	4418	茅原 悠紀	岡山	16,062	14年連続14回目
	4444	桐生 順平	埼玉	14,233	15年連続15回目
	4851	関 浩哉	群馬	12,121	3年連続4回目
クラシックV	4847	佐藤隆太郎	東京	—	初出場
9	4320	峰 竜太	佐賀	21,451	2年連続15回目
10	4371	西山 貴浩	福岡	19,504	7年連続9回目
11	4571	菅 章哉	徳島	14,741	4年連続4回目
12	4445	宮地 元輝	佐賀	11,792	3年連続3回目
13	3415	松井 繁	大阪	10,195	31年連続33回目
14	3897	白井 英治	山口	8,353	3年ぶり18回目
15	4961	西橋 奈未	福井	7,293	2年連続2回目
16	4546	浜田亜理沙	埼玉	7,278	2年連続2回目
17	3388	今垣光太郎	福井	6,009	2年ぶり25回目
18	4963	實森 美祐	広島	5,718	3年ぶり2回目
19	4502	遠藤 エミ	滋賀	5,656	4年連続9回目
20	5174	川井 萌	静岡	5,564	初出場
21	4450	平高 奈菜	香川	5,556	2年ぶり9回目
22	4719	上條 暢嵩	大阪	5,401	2年連続3回目
23	4387	平山 智加	香川	5,218	5年連続11回目
24	4459	片岡 雅裕	香川	5,088	3年連続3回目
25	4168	石野 貴之	大阪	4,057	14年連続16回目
26	4337	平本 真之	愛知	3,970	11年連続11回目
27	5163	清水 愛海	山口	3,930	初出場
28	4205	山口 剛	広島	3,800	2年連続12回目
29	3783	瓜生 正義	福岡	3,341	7年連続24回目
30	4524	深谷 知博	静岡	3,226	3年連続5回目
31	4573	佐藤 翼	埼玉	3,208	2年連続4回目
32	4350	篠崎 元志	福岡	3,179	6年連続14回目
33	4586	磯部 誠	愛知	3,095	6年連続6回目
34	4494	河合 佑樹	静岡	2,868	初出場
35	4024	井口 佳典	三重	2,823	3年連続17回目
36	4914	吉田 裕平	愛知	2,703	初出場
37	4166	吉田 拓郎	岡山	2,692	9年ぶり3回目
38	3721	守田 俊介	滋賀	2,642	10年連続16回目
39	3908	重成 一人	香川	2,617	2年ぶり12回目
40	5084	末永 和也	佐賀	2,556	3年連続3回目
41	4503	上野真之介	佐賀	2,490	5年連続6回目
42	4685	島村 隆幸	徳島	2,415	初出場
43	4831	羽野 直也	福岡	2,362	2年連続6回目
44	4504	前田 将太	福岡	2,351	2年ぶり8回目
45	4686	丸野 一樹	滋賀	2,330	2年連続5回目
46	4500	山田 康二	佐賀	2,298	3年連続4回目
47	4787	椎名 豊	群馬	2,243	3年連続3回目
48	4760	山崎 郡	大阪	2,229	4年連続4回目
49	4362	土屋 智則	群馬	2,027	2年ぶり2回目
委員会推薦	4477	篠崎 仁志	福岡	2,014	13年連続13回目
	5043	中村 日向	香川	1,817	初出場
	3779	原田 幸哉	長崎	1,770	11年連続25回目

赤字は初出場 青字は香川支部



3年ぶりのファン投票1位となった毒島誠

いて賞金バトルは出遅れる形となってしまう。だが、丸亀は初のSG制覇を決めた思い出の水面でもある。下半期の巻き返しに向けて最高の舞台と言っている。う。

3、4位には西山貴浩と池田浩二のおなじみコンビがランクインした。西山は普段の人気の高さはもちろんのこと、昨年の地元若松周年を優勝したことは大きい。また、投票とは関係ないが、3月クラシックでの奮闘は多くのファンの心に突き刺さったはずだ。池田も昨年4つのSGを含む年間15回優出と大活躍だっただけに11年以來、14年ぶりの大会制覇を狙う。

5位には昨年の当地メモリアルをまくり差して制した馬場貴也、6位には25年後期審査期間中に9点台近い勝率をマークした茅原

悠紀とトップ6の顔ぶれは例年とそう変わらなかったが、今年大躍進を遂げたのが菅章哉だ。昨年の18位から今年は7位にまでランクアップ。菅は23年9月のからつ周年優勝戦でFを切り、1年間GIに出られなかった昨年、一般戦で9Vと勝ちまくった。そのうちの2回がチルトを3度に跳ねてまくったもので、この伸び型のセッティングがファンの心をわしづかみにしたと言っている。さらに4月には津で初のGI制覇を決め、返す刀でSG初Vを決めてもおかしくない。



峰竜太

ALLSTARS

菅章哉



地元エースとしての活躍に期待がかかる片岡雅裕

清水愛海



川井萌

河合佑樹、島村隆幸ら6人が初出場
地元からは片岡雅裕が優勝候補

初出場組は6人が選出された。河合佑樹は意外にもオールスターは今回が初。昨年のチャレンジャップ優勝を機に人気レーサーの仲間入りを果たした。今年に入って

からはやや苦戦が続いているが、ビッグレースが続くここからの巻き返しを狙う。昨年の丸亀周年でGIウイナーの仲間入りを果たした吉田裕平や2月の当地四国地区選を勝った島村隆幸はすでにSGの経験が十分あるだけに好相性の

水面で躍進しそう。女子では清水愛海と川井萌の127期コンビがそろって出場。養成所チャンプの清水は早くから出世が期待された逸材。Fの多さから思い切ったレースができていないことも多いが、旋回力はかなりのものを秘める。一方の川井は24年後期こそ4点台の勝率だったが、25年前期は6・33をマークしてA1級に昇格した成長株のひとり。2月のスピードクイーンメモリアルでは優勝

戦まで勝ち進んだように大舞台でも物おじしないターンは魅力だ。地元香川支部からは片岡雅裕を筆頭に平山智加と平高奈菜の女子レーサー2人、そして重成一人と施行者推薦で中村日向の初出場が決まった。もちろん注目はSG2冠の片岡だが、平高も今年は強さを取り戻している。22年のオールスターでは優出経験もあり、久々のSGファイナル入りは十分ありそう。中村は23年のクラシック以来、2度目のSG出場となる。このクラシックでは初戦にFを切り、3着内に一度も入れないという洗礼を浴びた。このオールスターでは地元のアドバンテージも生かしてまずは水神祭を決めたい。

表2 近10年のオールスター優勝者とファン投票1位選手の成績

回	レース場	優勝者	決まり手	当時年齢	ファン投票1位	成績
第42回	大村	山崎 智也	逃げ	41才	瓜生 正義	準優敗退
第43回	尼崎	平本 真之	逃げ	32才	山崎 智也	予選敗退
第44回	福岡	石野 貴之	逃げ	34才	峰 竜太	予選敗退
第45回	尼崎	中島 孝平	逃げ	38才	峰 竜太	準優敗退
第46回	福岡	吉川 元浩	逃げ	46才	峰 竜太	優勝戦3着
第47回	住之江	篠崎 仁志	逃げ	32才	峰 竜太	準優敗退
第48回	若松	峰 竜太	逃げ	36才	峰 竜太	優勝
第49回	宮島	原田 幸哉	まくり差し	46才	毒島 誠	準優敗退
第50回	芦屋	石野 貴之	逃げ	40才	池田 浩二	予選敗退
第51回	多摩川	定松 勇樹	逃げ	23才	峰 竜太	準優敗退

地元番記者が厳選

丸亀の注目エンジンを丸裸に!!

2連対率は25年4月15日時点のもの

20 号機	評価 A	45 号機	評価 A+	65 号機	評価 A+	57 号機	評価 S	47 号機	評価 S
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
34.3%	→	43.6%	↗	49.2%	→	46.3%	↗	48.0%	↗
1月に横田貴満がデビュー初Vを決めてから地区選の島村隆幸、丸野一樹と5節で3Vと結果を残している。		初おろしで後藤正宗が伸びをトップ級に仕上げて優勝。その後も乗り手問わず安定して力強い舟足を誇っている。		エース機候補だったが、2月四国地区選以降はそこまで目立つことはない。出足、ターン回りを中心に上位級。		2月に乗った阿波勝哉が「伸びは凄い」と絶賛。翌月には中村魁生がV戦をチルト2度にして大外からまくり差しV!		年明けから急上昇して4月には近江翔吾が節イチ宣言でV。バランス型だが伸びに寄せても威力を発揮する。	

21 号機	評価 A	31 号機	評価 A	36 号機	評価 A	53 号機	評価 A	66 号機	評価 A
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
38.6%	↑	36.6%	↗	40.4%	↗	44.4%	↗	41.6%	→
出足、回り足が軽快で実戦向き。他の良機と比較して1、2、3着数が安定しているのはレース足の裏付けでもある。		11月の周年記念で吉田裕平がV。2月の四国地区選で森高一真が準V。直近でも柳沢一が上位に仕上げている。		初おろしから安定して動きは上々。伸び寄りだったのを3月に乗った北村征嗣がバランス型にして優勝している。		3月に桑原悠が伸び型に仕上げてV。直線系統を好む攻撃派の選手が引き当てれば、威力を発揮しそうだ。		伸びるようなことはないが、安定してレース足は軽快だ。遡れば、11月の周年記念で末永和也が準優勝している。	

65も好素性機のひとつ。昨年暮れに乗った地元の中岡正彦が「これはエース級のエンジンだと思ふ」と語っており、年明けにはエース機候補との声が高まっていた。1月以降はやや勢いに陰りがみられていたが、2月の四国地区

昨年9月26日から使用開始して7か月が経過。全基14ノット登場して相場はほぼ固まっている。47と57の2基が双壁でツートップとみていい。47は新年に入ってから乗り手不問で快パワーを誇り、完全にトップの座に躍り出たのが3月だ。間嶋仁志が石野貴之のイン戦に對し、4カドからまくって攻めて準優勝。次節に地元の近江翔吾が優勝し、節イチ宣言をしていた。続く鈴木勝博もVを挙げ、2節連続優勝を達成した。

57は2ノット3月にかけて3節連続チルト2度の伸び特化で猛威を振るった。阿波勝哉は「最近のももこれだけ伸びるのはあまりないですね」と絶賛。3月には中村魁生が優勝戦のみチルト2度で勝負をかけ、前述の間嶋の仕掛けを利して6コースからまくり差しして優勝を決めたのはパワーの裏付けにほかならない。中村の後に乗ったオールスター優出歴がある石田政吾が「これはSGでも優勝戦に乗るエンジンだと思います」とお墨付きを与えている。

47号機&57号機がツートップ! 2連対率首位の58号機は要注意

選では伏兵の田村慶が節間4勝と奮闘。上位の一角に変わりはなく。31は大舞台に強い。昨年11月の周年記念で吉田裕平がGI初V。2月の地区選では森高一真が4カドから見せ場をつくって準Vと結果を残している。近況も4月に柳沢一が出足を上位級に仕上げている。

2連対率上位機は概ね数字通りの素性と言えるが、唯一50%を超えているトップの58だけは別。近況急降下でオススめはできない。(スポーツニッポン新聞社白鳥幹太)

